

令和7年度

板橋区環境白書（概要版）



Commit our Future
Toward SDGs
ITABASHI CITY

板橋区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

区では2016（平成28）年度を始期とする「板橋区環境基本計画2025」を策定し、概ね10年後のめざすべき環境の姿を「人と緑を未来へつなぐスマートシティ“エコポリス板橋”」として取組を進めています。緑と水やきれいな空気に囲まれ、生物の多様性が保全されるなど自然環境と共生するとともに、スマートシティに向けてICTなど最先端の技術など取り入れ、脱炭素社会を実現するまちづくりや、地域全体が連携した活動をもとに資源循環型社会の実現を目指しています。

この環境像の実現のため、個別分野ごとの環境課題に対応した6つの基本目標を設定し、それらの目標達成に向けて、各施策・取組を以下の通りに進めております。

基本目標 1 脱炭素社会の実現



《いたばし環境アクションポイント事業》

省エネ行動等により、電気・ガスの使用量の削減を行った方へポイントを付与する「いたばし環境アクションポイント事業」を行っています。エネルギー使用量の削減により、区内の温室効果ガスの削減につながります。

令和6年度は705件の申請があり、91t-CO₂を削減しました。引き続き、区内の温室効果ガスの削減に向け、省エネ行動の啓発に取り組んでまいります。

省エネ行動に取り組んで
商品券がもらえます！
-参加者募集-

いたばし環境アクションポイント事業
板橋区は「ゼロカーボンいたばし2050」を表明し、区民・事業者とともに脱炭素社会の実現をめざします。
脱炭素社会の実現につながる省エネ行動により、前年と比較して電気・ガスのエネルギー使用量の削減を達成した際に、削減率に応じたポイントを付与します。
その他、ポイントを獲得できる削減補助メニューもあります。
獲得したポイントは、1ポイント1円相当の区内共通商品券等（いたばしPayによるポイント付与も選択可）と交換できます。

《区施設における再生可能エネルギー100%電力の切り替え導入》

区域内にある板橋区の施設は、太陽光発電システムなどで発電する再生可能エネルギー100%電力(CO₂ゼロエミ及び再エネ電力)への切り替え導入を計画的に進めています。施設で調達する電力をCO₂排出量が実質ゼロの電力に切り替え、温室効果ガス削減をします。

令和7年度は新たに14施設へ導入し、計116施設の導入となりました。引き続き、再生可能エネルギー100%電力への切替を進め、区内温室効果ガスの削減に取り組みます。

この施設は
再生可能エネルギー100%の電力
の導入施設です

再生可能エネルギーとは、太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスなどの自然の力を利用して得られた、継続的に利用することができるエネルギーです。

ゼロカーボン
いたばし2050
板橋区
環境基本計画2025
環境実行計画

基本目標2 循環型社会の実現



区は、フードドライブをはじめとする食品ロス削減に向けた取り組みをしています。令和6年度からは、家庭における食品ロス削減のため、食べきれなかった料理や余りがちな食材、野菜の皮や芯を活用したオリジナルレシピの募集を行い、優秀作品を決めるコンテスト「いたばし食べきりレシピコンテスト」を開催しています。



いたばし食べきり
レシピコンテスト



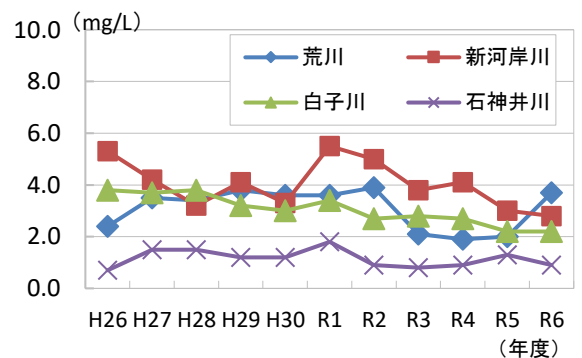
基本目標3 自然環境と生物多様性の保全



《河川の水質調査～BOD～》

板橋区内では、4河川において、水質調査を実施しています。2024（令和6）年度の水質調査のうち、水の汚れの指標の一つであるBOD75%値については、すべての地点で環境基準を満たしていました。

河川のBOD75%値経年変化(年平均)



《河川生物調査》

板橋区内を流域とする石神井川と白子川において、河川生物の生息状況調査を交互に隔年で実施しています。令和6年度は白子川（東埼橋上流付近・白藤橋付近）で調査を実施し、魚類では、ニホンウナギ、ドジョウ、ヌマチチブなど、5目7科13種が、底生生物では、チリメンカワニナ、シマイシビル、カワリヌマエビ属、コオニヤンマなど、11目18科24種が確認されました。



ヒガシシマドジョウ

基本目標4 快適で健康に暮らせる生活環境の実現



「PM2.5の基準値Bレベル以上の日数」は、0日が継続しており、大気は良好な状態となっています。また、区内の道路交通による騒音は、幹線道路の騒音測定値を道路周辺の建物に対する道路騒音の影響で評価することにより把握しており、「騒音に係る環境基準の達成率」は、近年は概ね横ばいで推移していましたが、令和6年度は上昇し、目標値を達成しました。

今後も、大気汚染や騒音等の対策の取組を進め、良好な生活環境を維持することで、区民生活等の基盤を支え、快適で健康に暮らせる生活環境の実現をめざしていきます。

【区の取組紹介】



◀微小粒子状物（PM2.5）による大気汚染について

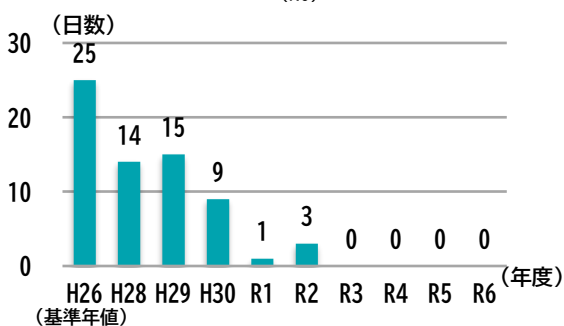


◀自動車公害に関する取組

PM2.5の基準値Bレベル以上の日数

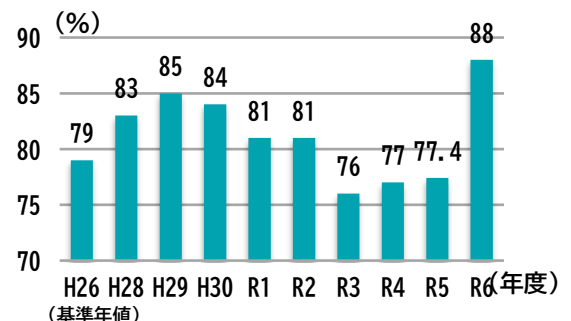
基準年値 25日 (H26)	実績値 0日 (R6)	目標値 23日 (R7)
----------------------	--------------------------	--------------------

100%



騒音に係る環境基準の達成率

基準年値 79% (H26)	実績値 88.0% (R6)	目標値 85% (R7)
----------------------	-----------------------------	--------------------



基本目標5 「環境力」の高い人材の育成



環境教育・環境学習等の拠点施設であるエコポリスセンターを中心に、環境関連の講座やイベント、学校や地域へ訪問し実施する出前講座などを展開してきました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020（令和2）年度～2021（令和3）年度に、環境講座参加者数等が大きく減少したものの、徐々に以前の水準に戻りつつあります。

学校などの教育現場では、ESD※の考え方を重視し、区が独自に開発した保幼小中一貫環境教育カリキュラムに基づき、保幼小中一貫型の環境学習を推進しています。また、区独自の情報や特性を踏まえて開発した「環境教育プログラム」は、広く教育現場で活用されており、2024（令和6）年度は区立学校園の83.5%が実施しました。引き続き、「環境力」の高い人材育成をテーマとした環境講座の実施や、イベントの開催など環境にふれ合う機会を提供いたします。 ※ Education for Sustainable Development：持続可能な開発のための教育

【区の取組紹介】



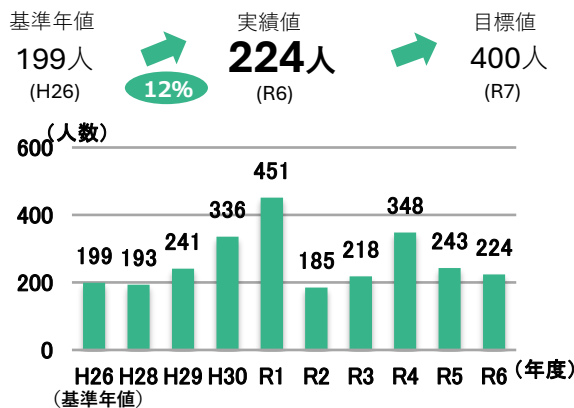
板橋区立エコポリスセンター
環境活動の拠点施設です



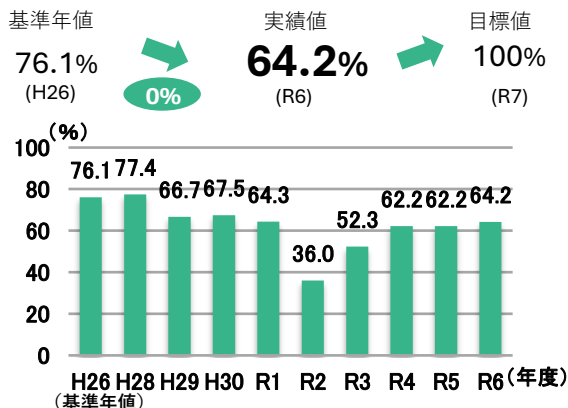
エコアクション9
地球温暖化防止のためにエコ
アクション9を実践しましょう



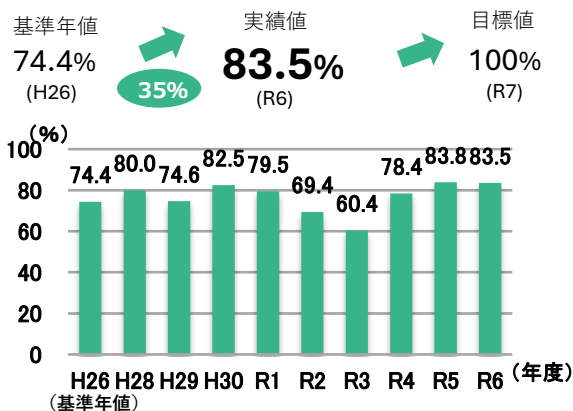
人材育成に関わる環境講座参加者数



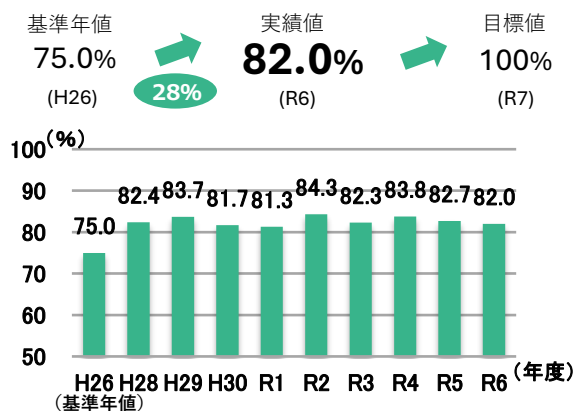
外部人材を活用した環境学習実施(校園)の割合



環境教育プログラム利用(校園)の割合



エコ生活(エコアクション9)の実施状況



関連する計画：板橋区環境教育推進プラン2025

基本目標 6 パートナーシップが支えるまちの実現



区民団体（環境活動団体など）と区の協働をはじめ、町会・自治会、商店街、企業、大学など、多様な主体との連携・協働により、様々な環境保全活動を推進しています。

これらの活動も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種キャンペーンへの参加者やエコポリスセンター事業へのボランティア参加者数、環境学習講師派遣人数は2020（令和2）年度～2021（令和3）年度に一時落ち込んだものの、徐々に復調傾向にあります。一方で、環境登録団体は減少が続き、団体のすそ野を広げることが課題となっています。

今後は、環境教育・環境活動を広める機会を充実させ、若い世代や環境活動の新たな担い手へのアプローチを強化し、環境教育・環境活動のネットワークづくりを進めていきます。

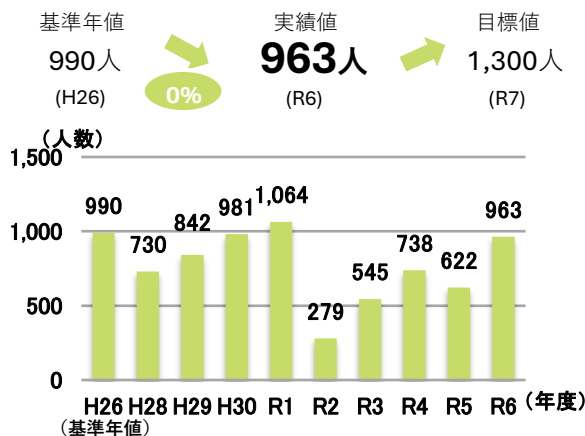
【区の実践紹介】



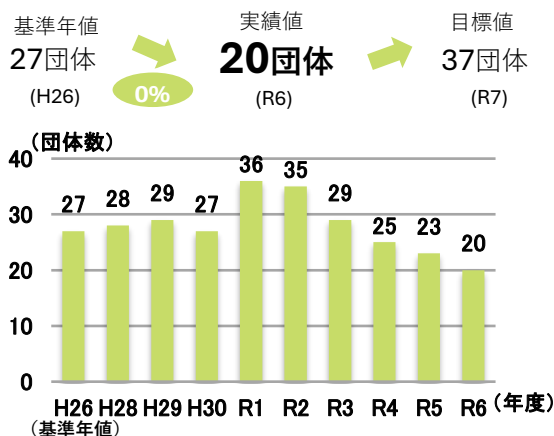
板橋クリーン作戦
多様な団体が地域の美化活動を実践しています



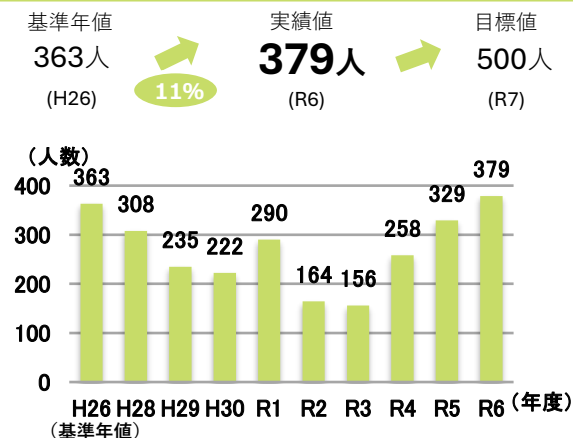
エコポリスセンター事業へのボランティア等参加者数



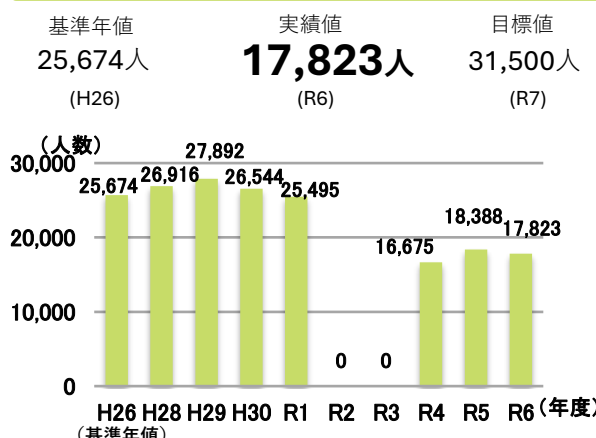
環境登録団体数



環境学習講師派遣人数



全区民参加型環境保全キャンペーン参加者数



板橋区の環境の現状や取組の詳細は、「板橋区環境白書（本編）」に掲載しています。



板橋区環境白書（概要版）は古紙パルプ配合率80%以上再生紙を使用しています。

板橋区役所資源環境部環境政策課
東京都板橋区板橋二丁目66番1号
電話 03-3579-2591
FAX 03-3579-2249